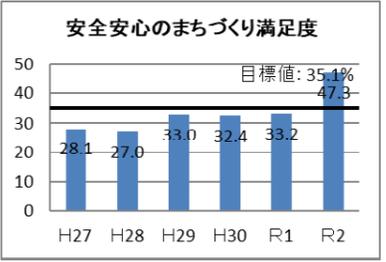
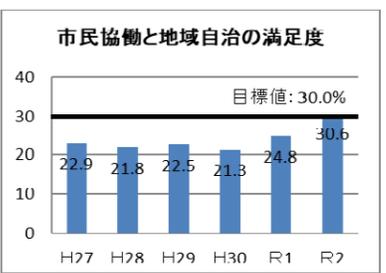


【第1期八尾市総合戦略における指標・KPI数値目標一覧】

資料5

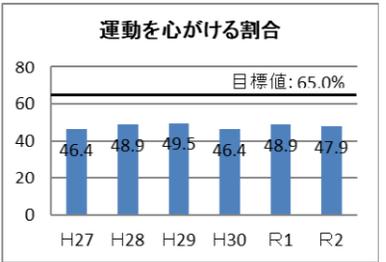
○基本目標1 地域の多様性を尊重したまちづくりが進み、安全・安心に暮らせるまち

	指標・KPI	単位	実績値						R2年度 目標値	達成 ・ 未達	達成状況の原因分析、説明等
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度			
基本目標 指標	市民協働と地域自治の推進に関する満足度	%	22.9	21.8	22.5	21.3	24.8	30.6	30.0	達成	近年実績値は上昇傾向にあり、令和2年度は目標を達成しているが、今後も地域住民が多様な主体と協力・連携し、地域課題の解決に向けた活動が実践され満足度が高まっていくよう、課題共有や課題解決のアイデア創出・実践に向けた対話の場を創出し、更なる市民協働と地域自治の推進を図る。
	安全安心のまちづくり満足度	%	28.1	27.0	33.0	32.4	33.2	47.3	35.1	達成	かねてより実施してきた防犯灯整備補助事業により、市内の大部分の防犯灯がLEDへと置き換わったことで夜間における街頭の明るさが高まってきた。それに加え、令和2年度において、市民・事業者等からの多額の寄付金を活用し、防犯カメラ309台の増設を行い、合計1,000台となったことなどから満足度が高まり、目標を達成したものと考えられる。
施策 KPI	地域活動への参加状況	%	55.1	61.9	67.9	63.7	61.2	62	65	未達	令和2年度実績は前年度対比で上昇しているが、最も高い数値であった平成29年度からは減少傾向にあり、目標は未達となった。引き続き地域活動や市民活動への参加を促し、持続性の高い組織運営が出来るように担い手の確保・育成等に関する提案や助言や情報提供等の支援を実施する必要がある。
	自主防災組織結成率	%	83.2	86.0	86.4	86.4	87.0	86.7	100.0	未達	結成率の算出基礎となっている町会数が統廃合により減少しており、令和2年度は実績値が減少した。引き続き、結成率上昇に向け、未結成地区に対し結成促進を実施する。
	市内街頭犯罪発生件数	件	2,081	1,764	1,619	1,348	1,050	871	1,050	達成	目標値は達成しているが、さらに街頭犯罪の発生件数が減少するよう、引き続き地域と連携した防犯啓発活動を実施していく。
	避難行動要支援者名簿「同意リスト」を提供した小学校区数	小学校区	2	5	7	11	13	14	28	未達	地域の実情に応じて取組みを進めるため、目標値には至っていないが、地域団体への周知・啓発を実施してきたことにより、毎年増加している状況である。災害時における避難行動支援の実効性を高め、同意者リストの活用について、さらに住民の理解が得られるよう取組みを進めていく必要がある。
	「高齢者見守りサポーターやお」協力事業者の登録数	事業所	684	694	701	700	702	618	720	未達	登録事業者の廃業等により、実績が減少している。今後、定期的に事業者の状況を把握するとともに、市政だよりやホームページなど従来の手法だけでなく、公民連携の枠組みを活用するなど、積極的な事業周知に努める。



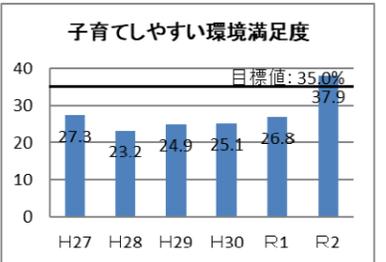
○基本目標2 みんなの健康をみんなで守る健康づくりのまち

指標・KPI	単位	実績値						R2年度 目標値	達成 ・ 未達	達成状況の原因分析、説明等	
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度				
基本目標 指標	健康のために運動を心がける市民の割合	%	46.4	48.9	49.5	46.4	48.9	47.9	65.0	未達	健康のために運動を心がける市民の割合は、令和2年度47.9%になり、前年度より減少している。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため減少したと考えられるが、平成27年度から年度によって増減が見られるため、引き続き、八尾市健康まちづくり宣言の意義を普及啓発し、市民の健康意識の向上及び地域における健康づくりの機運醸成を図る。また、地域のコミュニティ、医療機関及び関係機関・企業並びに大学・研究機関との連携、協力のもと、市民の健康や生活習慣に関する現状と課題を分析し、その解決に向けて、市民が運動をはじめとする健康づくりに主体的に取り組み、地域全体で支えていくことができるよう環境整備を推進する。
施策 KPI	健康づくりに取り組む地域数	地域	13	28	28	28	28	28	28	達成	「健康日本21八尾第3期計画及び八尾市食育推進第2期計画」や「八尾市健康まちづくり宣言」に基づき、地域住民が主体的に健康づくりに取り組めるよう、各地域住民で組織する校区まちづくり協議会に働きかけたことで、健康コミュニティの構築及び地域住民の健康づくりをより推進することができた（実績値は校区まちづくり協議会の総数）。
	健康相談利用者数	人	14,939	17,210	16,738	18,331	15,707	2,244	18,331	未達	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、あなたのまちの健康相談を4～9月まで中止し、10月からは予約制としたこと、その他健康相談事業を中止したことが利用者数に影響を与えたと考える。今後、新たな手法を活用した健康相談事業を推進していく。



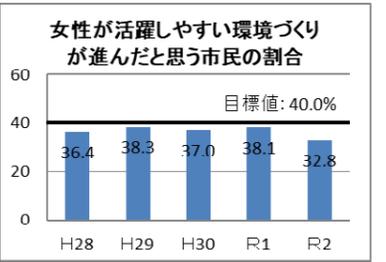
○基本目標3 若い世代が自分の将来を見つめ学び、ライフプランが実現できるまち

	指標・KPI	単位	実績値						R2年度 目標値	達成 ・ 未達	達成状況の原因分析、説明等	
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度				
基本目標 指標	こどもが健やかに育ち、子育てしやすい環境満足度	%	27.3	23.2	24.9	25.1	26.8	37.9	35.0	達成	待機児童数0を2年続けて達成した他、令和2年1月より子ども医療費の助成を18歳まで拡充したことや、令和2年9月からの2歳児を対象とした本市独自の「幼児教育・保育の無償化」を実施したことなどにより、満足度が大きく上昇したものと思われる。	
施策 KPI	つどいの広場のべ利用者数（組数）	組	19,037	19,567	19,056	19,201	16,303	10,697	23,000	未達	広場利用対象となる在宅児童は年々減少傾向にある。令和2年度は新型コロナウイルス感染予防対策として行った利用人数の制限が、利用組数減少の大きな要因となっている。	
	妊婦の把握率	%	90.0	94.7	96.0	97.0	99.0	98.7	100.0	未達	妊娠届出時、保健センターでは助産師・保健師による面接を実施している。面接を実施出来なかった場合や市民課届出分については、助産師による電話確認、アンケートの郵送、保健師による訪問などを実施した。また、若年妊婦への対策として、H29年度よりメールでの対応を導入した結果、実績値は年々増加している。なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行があったが、妊婦の把握については、影響を受けることなく、ほぼ例年並みの把握率を確保することができた。	
	保育所等の待機児童数	人	19	47	63	18	0	0	0	達成	各施設の定員数増及び、丁寧な利用調整により待機児童数が0となった。	
	地域事業への子どもの参加数	人	95,640	97,586	100,872	100,513	90,533	5,220	110,000	未達	新型コロナウイルス感染拡大に伴う地域事業等の中止・自粛により、子どもの参加数が大きく減少したが、継続して青少年の健全育成を進めるため、青少年を守る環境づくりについての啓発活動や、コロナ禍におけるこども会等の状況把握に努め、活動に係る助言や提案も行うなど、地域事業の支援を積極的に実施した。	
	幼稚園教員・保育所（園）保育士等合同研修会の出席率	%	94.5	92.0	95.7	95.3	92.3	87.2	100.0	未達	就学前施設から小学校への円滑な接続を図るために、平成28年度より小学校教員の保育体験を実施している。さらに、平成30年度より中学校区でスタート期のカリキュラム作成にも取り組んでいる。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のためワークシートを活用して実践事例を共有した。 感染症対策の対応業務などにより研修に参加しにくい事もあり実績値は減少となったが、引き続き、就学前施設と小学校における連携の重要性を伝えるとともに、研修に出席しやすい日程調整や会場の確保等に配慮していく。また、幼稚園、保育所（園）、認定こども園、小学校の交流・連携や、互いの教育・保育の体験、小学校授業参観などの自主的な取り組みについても促進していく。	
	【全国学力・学習状況調査】 「学校に行くのは楽しい」と答えた児童・生徒の割合 (児童：小学校6年生) (生徒：中学校3年生)	%	(児童) 87.8 (生徒) 79.4	(児童) 84.9 (生徒) 77.3	(児童) 83.0 (生徒) 79.6	(児童) -	(児童) -	(児童) -	(児童) -	-	未達	平成30年度より、全国学力・学習状況調査の調査項目から、指標としていた質問項目が削除されたため、別途八尾市が実施している「学校生活アンケート」の同じ質問項目の結果数値を記載。 「学校に行くのは楽しい」と答える背景には、「勉強がよく分かる」「クラブ活動が楽しい」「友だちと一緒に遊べて楽しい」「給食がおいしい」など、さまざまな要因があって、それらを総合的に判断して答えたものだと考えられる。 この指標を目標値へ近づけるためには、教員の指導力の向上や学級集団づくり等、今後もさらなる指導・改善を図ってまいりたい。
	【参考：八尾市『こことからだのアンケート』 「学校に行くのは楽しい」と答えた児童・生徒の割合 (児童：小学校6年生) (生徒：中学校3年生)	%	(児童) 86.7 (生徒) 82.4	(児童) 87.8 (生徒) 81.4	(児童) 84.5 (生徒) 77.7	(児童) 79.8 (生徒) 79.9	(児童) 85.8 (生徒) 80.5	(児童) 87.0 (生徒) 80.1	(児童) 90 (生徒) 85	-	未達	
定住を目的とした住宅の新築・購入・リフォーム等への支援数	件（累計）	175	241	288	352	426	443	439	達成	木造住宅耐震改修補助制度を活用し、13人が現在入居している住宅の耐震化を行った。 また、10月から運用を開始した中古住宅流通促進補助及び同居支援補助を活用し、4人が住宅を取得し、又はリフォーム工事を行った。 令和2年度は合計17人に対しての支援を実施し、累計での目標値は達成したが、例年実施していた、空家の相続やリフォームなど空家の管理・活用に関するセミナーについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止しており、単年度の支援人数は少ない結果となった。		



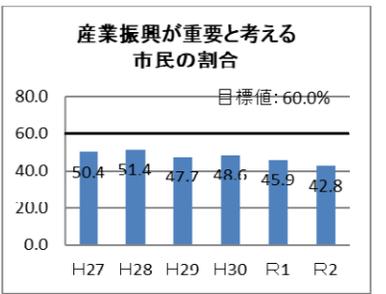
○基本目標4 女性が培ってきた能力や経験を活かし、地域や職場で活躍できるまち

	指標・KPI	単位	実績値						R2年度 目標値	達成 ・ 未達	達成状況の原因分析、説明等
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度			
基本目標 指標	女性が活躍しやすい環境づくりが進んだと思う市民の割合	%	-	36.4	38.3	37.0	38.1	32.8	40.0	未達	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、女性を取り巻く現状が厳しいものとなっていることから、肯定的な意見が減少したと考えられる。
施策 KPI	福祉分野における人材育成の研修会や講習会への女性の参加人数	人	-	64	8	33	29	-	33	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、令和2年度は研修等の実施がなかったため。
	審議会等における女性の登用率	%	34.3	35.5	35.6	34.5	33.0	32.9	40.0	未達	「審議会等への女性委員の登用に関するポジティブ・アクションプラン」に基づき取り組みをおこなったが、事業の終了や統合により、女性の登用率が40%を超えていた審議会が減少した。
	女性の活躍推進講座の参加者	人	-	370	714	913	659	75	913	未達	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、予定していた事業が実施できなかったため。
	女性に対して職業紹介したうちの就職件数	件	1,159	1,028	994	875	785	536	1,200	未達	実績値については新型コロナウイルス感染症の影響によるワークサポートセンターの臨時休館等もあり減少している。引き続き、求職者が就職に結びつくようにきめ細かな職業紹介を行うことで就職件数の増加をめざす。



○基本目標5 身近なしごとの場が充実する、未来志向の産業振興をめざすまち

	指標・KPI	単位	実績値						R2年度 目標値	達成 ・ 未達	達成状況の原因分析、説明等
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度			
基本目標 指標	まちづくりにおいて産業振興が重要と考える市民の割合	%	50.4	51.4	47.7	48.6	45.9	42.8	60.0	未達	指標については減少となった。引き続き、八尾市中小企業地域経済振興基本条例の主旨に基づき、産業振興の重要性について市民周知の機会を得るための活動を進める。
施策 KPI	ワークサポートセンターにおける就職件数	件	2,238	2,028	2,041	1,775	1,520	966	2,502	未達	実績値については新型コロナウイルス感染症の影響による施設の臨時休館等もあり減少している。引き続き、求職者が就職に結びつくようにきめ細かな職業紹介を行うことにより就職件数の増加をめざす。
	新製品・商品開発支援企業数	社	155	199	168	129	131	206	174	達成	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用により、支援数増となった。
	支援機関相談等対応件数	件	2,927	5,199	4,561	4,913	5,502	7,873	4,913	達成	新型コロナウイルス感染症関連の相談により、相談件数が大きく伸びた。
	創業支援対象者数のうち創業者数	件	73	98	147	171	111	150	151	未達	昨年度と比較し、創業者数が増加している。新型コロナウイルス感染症の影響により低下していた創業のマインドが、少し回復してきていると考えられる。



○基本目標6 「にぎわい」にあふれ、いつまでも住みつづけたい魅力あるまち

指標・KPI	単位	実績値						R2年度 目標値	達成 ・ 未達	達成状況の原因分析、説明等	
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度				
基本目標 指標	住み続けたいと感じる市民の割合	%	81.0	78.2	79.5	80.5	82.6	80.5	89.0	未達	-
施策 KPI	適切な土地利用が図られ、暮らしやすいまちになったと感じる市民の割合	%	34.5	32.9	35.2	32.0	35.7	38.8	40	未達	実績値については前年度より増加しており、引き続き目標達成に向け都市計画手法等の活用による取り組みを進めていく。
	都市計画道路の整備率	%	54.63	54.66	54.8	55.0	55.2	55.4	55.4	達成	都市計画道路 JR八尾駅前線や、久宝寺線の整備を実施した。
	八尾探プログラムの提供数	回 (累計)	10	23	55	65	81	91	80	達成	令和2年度においては、八尾探事業として、ツアー体験をメインとした「八尾物語」を実施。各回ともに定員を上回る申し込みがあり、満足度調査からも非日常を体験できるということで好評を得ている。一部緊急事態宣言の影響等により中止、延期となっており、コロナ禍での新たな生活様式に沿った実施手法を検討していく。
	地域連携活動件数	件	1	2	2	1	3	0	3	未達	阪南大学・リコージャパンと連携し、令和元年度実施した「地方創生における産官学連携のにぎわい創出支援事業」をブラッシュアップした取り組みの実施を想定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により着手できなかった。 大和川という地域資源を利用して多世代の地域住民が交流する「かわまちづくり事業」における環境教育・環境研究活動については、近畿大学と連携して実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。 今後はコロナ禍における実施手法等の工夫なども含め、多様な形で実施できるよう様々な手法を検討していく。

